

金に成る農業を

新規就農指導員

難波 俊司さん(谷)

お米中心の農業から多角的農業へと転換する流れがあります
が、野菜農家としてどうですか

20年間、無人市をやってきました。

その中で、この時期にここでしか
作ることができない野菜を一生
懸命やれば必ずもうかることに
気づいた。広島や四国で野菜が
収穫できない時期に、ここで作
れる野菜はかなりある。

冬季、ストーブで加温し、無
理やり作物を作るとは、経費
ばかり要し、利益が出にくい。

冬は雪の降らない大和町や三
次市に、土地を10アールでも20
アールでも借りて、作れるもの
をつくったほうがよほどいいと
思う。



和やかに語る難波指導員

有機無農薬栽培は、高度な技
術と経験が必要だ。また、量の
確保は大切だ。

エコ栽培なら失敗が少なく、
自立して農業を続けていけるの
で勧めたい。

売り方の秘訣は

新規就農者は、生産技術が未
熟で販売経験が浅い。出口とし
て、三次市にある「まるシエが
背水の陣で何とか立て直そうと
しているの、利用できないか考
えている。直売所は自分の名前
を売ることが大切だ。

収入確保の視点は

農家には、今の農業には野菜
の作り方で月に5万円でも10万
円でも金になるといっておもしろ

みがある。農地をいかに活かす
かは、目標金額を設定して作付
けをすることだと思う。発想を
少し変えれば、年間100万円
くらいの収入は難しいことでは
ない。

これからの地域農業は

ここは中国山地の真つ只中
だ。清浄な環境の中で育くまれ
た野菜は、安全で美味いという
イメージを定着させなければい
けない。

昼夜の温度差が大きく、日照
時間が長い特性を生かし、野菜
本来の美味しさを待つ野菜の産
地として有望だと考えている。

これからは、月々現金収入が
確保できる農業が求められてい
くに違いない。



丹精込めた苗作り

今月の 表紙写真



「金になる農業を」と言われる難波俊司さんは、「買い手が欲しいモノを届けるからお金になる」と一言。「感動するものを届ける」ことは、どこにでもあるようなモノは作らないことでもあり、農業は商業でもあったのです。難波さんは新規就農者の育成指導に携わりながら「この町で、本気で農業に取り組む人と基盤を育てていきたい」と熱く語られました。そんな難波さんの周りには、本気で取り組む仲間も大勢おられるようです。

編集後記

3月定例会は、インフルエンザ
が蔓延し、8名の議員が感染した
ため流会になり、全議案が廃案に
なりました。3月25日には、全議員
が出席して臨時議会を開催し、改
めて提出された議案をすべて可決
しました。

町民の皆さんには、大変ご迷惑、
ご心配をおかけしました。私自身、
健康の自己管理、危機管理の徹底
を再認識したところです。

危機管理と言えば、この冬は暖
冬で雪も少なく、住民の方々には
安心して過ごせた冬だったのでは
ないでしょうか。

しかし、降るべき時期に降らない
という事は、異常気象と言えます。
これから梅雨や台風の時期を迎え
ますが、異常気象により、大雨や大
きな台風が到来する可能性もあり
ます。

日頃から、テレビ・ラジオなどで
気象情報を把握し、自分の身を守
る行動をして頂きたいと思いま
す。

議会広報編集委員会

委員長

高橋 英次